

施策番号	15
------	----

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

基本政策	3	産業・雇用
施策名	15	観光・交流
10年後のまちの姿	○豊かな自然や歴史・文化等を舞台に、おもてなしの心を持った市民と何度も胎内市を訪れるファン、新たな観光客との活発な交流が行われています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、市内の主要な観光施設の適切な運営とともに、まちぐるみで着地型観光*を推進するための合意形成に向けた支援等に取り組みます。 市民等は、地域の魅力に誇りを持ち、観光客の受入れに理解を示し、それぞれの立場からおもてなしに協力します。	
実現に向けた取組	①魅力的な観光プランの提供 ②食、アクティビティの魅力向上による消費・販売機会の拡大 ③施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策 ④効果的・効率的な情報発信	
施策担当課・係	商工観光課 観光振興係	
施策関係課・係	農林水産課 農村交流係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	719,602	878,666	783,858		
事務事業数	22	21	21		
うち、事務事業評価対象	22	21	20		

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
観光入込客数〔年間〕	千人	1,106	1,048	985	1,073			1,200	1,300
農家民泊登録先の実受入実施軒数の割合〔年間〕	%	30	45	23	27			40	50
道の駅胎内（観光交流センター）の売上〔年間〕	千円	7,669	6,866	7,770	8,474			8,740	9,880
既存施設のオフシーズン活用数〔年間〕	件	1	2	4	2			3	5
観光協会ホームページビュー数〔月平均〕	千ビュー	20	20	15	20			25	30

3 施策の進捗状況

達成度	○ 概ね順調
達成度の判断根拠	屋外の観光事業については、天候等に左右され入込数にも影響があったが、概ね順調に推移していると判断した。
成果指標による現状分析	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、株式会社胎内リゾートが運営をする観光施設の利用客が減少した。更には、暖冬少雪によりスキー場の運営ができなかった。また、様々な体験プログラム等も中止となった。 ・農家民泊登録先の実受入実施件数の割合は、首都圏からの受入れがあると短期的に承諾をいただけるが、継続的な受入れ実施までには至らない。しかしながら以前の受け入れ農家の復活や、新規登録など若干ではあるが増加している。 ・インバウンドについては、台湾のエージェントにより冬の旅行商品が造成され開始したものの新潟空港に就航する航空会社が突如運航を停止したことにより予定されていた複数のツアーが中止となった。

4 取組の状況と今後の方向性

① 魅力的な観光プランの提供

施策の内容
<p>◇市内の豊かな自然や各種観光資源、歴史・文化資源、イベント等を活用した、誘客・消費につながる季節ごと、目的別の重点モデルコースを作成し、店舗やガイド等の受入体制、情報発信も含めたパッケージ化に取り組みます。</p> <p>◇モデルコースの作成に当たっては、各種団体や市民、学生等協力者の力を借りて、街並み等の新しい魅力の掘り起こしや体験プログラムの開発を行います。</p> <p>◇胎内型ツーリズム推進協議会301人会や受入農家と協力して教育体験旅行・ふるさと体験学習等の提供を継続します。</p>
これまでの主な取組と実績
<p>【モデルコースについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的別重点モデルコースについては随時見直しを図り、市内の多種多様な観光資源をパッケージ化し、観光客のニーズ、時世に沿った魅力的な観光プランの提供に努めている。令和元年度においては、「いろどり胎内・秋冬創刊号」を作成した。 <p>【体験プログラム開発について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、新たな観光資源となった奥胎内ダムをツアーに加え、「寺弁」「自然薯掘り体験ツアー」「ロイヤル胎内パークホテルでの雪中キャンプ体験」「ブナ巨樹探索ツアー」など、地域住民や(株)胎内リゾートと連携した体験プログラムの開発・販売に本格的に着手した（企業・地域住民等が主体となり開発・販売を行ったものの支援も含む）。こうした体験プログラムのうち、定期的で開催されるものについては、令和元年度以降、モデルコース内に盛り込む計画である。また、令和2年度からは、観光振興推進サポーターを配置し、観光コンテンツの造成等を推進する。 <p>【教育体験旅行・ふるさと体験学習について】</p> <p>小学校や専門学校の受入を実施した。また胎内川流域ネイチャーガイド養成勉強会等を開催し地域のコーディネータの育成を図った。 (R1 市内小学校5校、市外小学校3校、専門学校1校)</p>
主な課題と今後の対応
<p>【モデルコースについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光誘客を促し、地域の雇用所得機会の拡充につなげるために、策定したモデルコースをどのような情報媒体（冊子・Web・SNS）で発信するべきか更に検討が必要である。 <p>【体験プログラム開発について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発する体験プログラムについては、観光客のニーズを見極めるとともに、市内の地域資源を最大限に引き出すようなプログラムの開発に、地域住民、民間企業等と連携をさらに深めつつ、取り組む必要がある。また、新型コロナウイルス感染症に対応した三密を避けた体験プログラムの開発も検討しなければならない。 <p>【教育体験旅行・ふるさと体験学習について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内ふるさと体験学習の受入れ5校を中心に、市外、県外の小中学校の定期的な受入れ促進。受入れ民家戸数の拡充すると共に、新型コロナウイルス感染症に対するマニュアルの作成が急務であり、新たな体験学習の在り方を構築する必要がある。

② 食、アクティビティの魅力向上による消費・販売機会の拡大

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅や物産館等への誘客を図るため、観光客だけでなく地元消費者のニーズを捉えた商品開発や販売方法の見直しを行います。 ・魅力的な飲食施設やレジャー施設を発掘し、観光プランへの反映や積極的なPRを行います。 ・事業者、農業者や食品加工業者等による新たな特産品や飲食施設の展開を支援します。
これまでの主な取組と実績
<p>【道の駅等への誘客促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅や物産館等への誘客促進として、農産物直売所や農産物生産団体、地域おこし協力隊などによる直接顔が見える安心・安全の農産物等の販売を行ない、市外の方のみならず、地元消費者ニーズに対しても対応した。 ・道の駅胎内においてH29からは胎内高原ビールや胎内高原ワインの販売を開始した。 ・令和元年9月には胎内市出身の声優、長谷川玲奈さんが観光PR大使に就任し、道の駅内に長谷川玲奈グッズや写真を展示したコーナーを設置し、誘客促進に努めた。 <p>【飲食施設等の観光プランへの反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自園産ぶどう100%の胎内高原ワインを絡め、ロイヤル胎内パークホテルでは胎内高原ワインフルコースプランを造成した。また、昨年度に実施した人気のプラン「みゆき庵でのそば打ち体験」などは引き続き行い、飲食施設での食とそれらを育む地域そのものを五感で味わうガストロノミーツアーを開催し、好評を博した。 <p>【新たな特産品開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・べにはるかについては、生産者、JA胎内、胎内市、新潟食料農業大学が共同して胎内産べにはるかブランドのブランド化を図るため新ブランド名はるかなたとして販売を開始した。
主な課題と今後の対応
<p>【道の駅等への誘客促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的に誘客促進に取り組むため、飲食・物販の核となる場の整備方針（ハード、ソフト）を定めるとともに、市内の商店・飲食店と連携する仕組みを構築し、市内全体として更に胎内の魅力に触れる場を創出する。 ・胎内高原ワインについて需要が年々増えている反面、品切れを起こしているため、ブドウの収穫量を増やす取組が必要。また、市内の酒販店への優先的出荷や、価値を高めてくれる酒販店や消費者との取引を行い、地域の活性化やブランド価値の向上に繋げる。 <p>【飲食施設等の観光プランへの反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客のニーズを見極めるとともに、市内の地域資源を最大限に引き出すプラン・メニューの開発に、地域住民、民間企業等と連携をさらに深めつつ、取り組む必要がある。 <p>【新たな特産品開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産品としては、米粉・ワイン・べにはるか・マコモダケ等の商品開発や加工開発をしており、今後は農業者、民間事業者、地域おこし協力隊等が連携し、新たな特産品開発が進められるよう支援する。 ・胎内産べにはるかの新ブランドはるかなたを新たな特産として推進していく。

③ 施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の長寿命化対策と併せた再整備や閑散期対策を行い、施設の有効活用を図ります。運営の効率化に高い効果が期待できる場合には、指定管理者制度*等の導入を検討します。 ・特に老朽化の進んだ施設や利用が著しく少ない施設、教育等その他の分野での活用があまり期待できない施設については、廃止や用途変更も含めて今後の活用方針を検討します。 ・鉄道や観光バスで地域を訪れる人のための二次交通を提供する方策を検討します。
これまでの主な取組と実績
<p>【施設の有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の長寿命化については、辺地対策事業債を活用し、大規模改修並びに部分改修を行ない、一般財源を抑えた中での改修を進めている。（ロイヤル胎内パークホテル・胎内スキー場・クアハウスたいない・塩の湯温泉・樽ヶ橋遊園等） <p>【施設の活用方針の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況が少ない施設等に関しては、選択と集中のなかで方針を検討している。 ・胎内アウレツ館は多額の改修費が必要となること及び運営の収支状況から、R1年度の運営を休止することとした。 <p>【二次交通の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次交通の提供に関しては、4月から12月までの間、土日・祝日に限定して市内の行楽地を巡る無料観光バスを運行した。
主な課題と今後の対応
<p>【施設の有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設やエリアの魅力向上策として、新たなプログラムを作成し、閑散期やオフシーズンの活用を考え、更に強化を図る。 ・胎内リゾートエリアでは、生涯学習施設等と施設間の連携強化も進めていく。 <p>【二次交通の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次交通の提供に関しては、令和2年度も引き続き運行する。 <p>【施設の活用方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胎内アウレツ館の廃止の方策について検討する。

④ 効果的・効率的な情報発信

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点やその周辺環境整備や景観整備、デザイン性の高いサインの設置等、地域の魅力向上につながる方策を検討します。 ・観光協会をはじめとする関係団体と協力して各種メディアへの働きかけやSNS*の活用等を強化し、胎内市の観光情報を積極的に発信するほか、新発田市、聖籠町等の近隣の自治体や観光地と連携して情報発信や集客の強化を図ります。 ・単独の宿泊施設や事業者では難しい企画や営業を進めていくために、関係者の交流の場や専門性を持ったDMO*等の組織の設立を検討します。
これまでの主な取組と実績
<p>【観光の環境整備等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光サインの整備については、観光拠点を中心とした整備計画のもと、サインマスタープランのとおり計画的に更新を実施している。 <p>【観光情報の発信等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報の発信については、商工観光課フェイスブック、樽ヶ橋遊園ブログ、インスタ、タイナインスタなどSNSを活用して観光情報を発信するとともに、胎内市観光協会のホームページ、ブログ、フェイスブックなどの活用に関しても、連携を図り情報発信を依頼している。次年度においては、樽ヶ橋遊園のインスタ、ツイッターの開設を検討する。 <p>【DMO等の設立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMOの設立については、具体的な検討はしていない。
主な課題と今後の対応
<p>【観光の環境整備等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光サインの整備については、胎内市観光サインマスタープランに基づき、財政状況を考慮し優先順位のもと計画的に改修を行なう。 <p>【観光情報の発信等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報の発信については、これまでと同様に、胎内市観光協会とも連携を図りSNS等を活用して行っていく。 <p>また、キノトラベルやNPOヨリシロなどの市内の観光・まちづくりに関係する民間団体とも連携を図り、情報発信を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿賀北9市町村（新発田市・村上市・阿賀野市・胎内市・五泉市・聖籠町・関川村・粟島浦村・阿賀町）による、広域的な連携のなかで、観光周遊モデルルートを随時見直しつつ発信を進めていく。 <p>【DMO等の設立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMOについては、広域連携による取り組みの中で推し進めていることから現段階においては設立はしないものの必要に応じて検討する。

5 施策の今後の方針

施策方針	◎ 拡充
施策方針に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら地域の観光資源を生かした体験プラン等を観光振興推進サポーターを主として市、関係団体等と造成をし観光交流人口の拡大を図る。 ・オールシーズン胎内として、核となるロイヤル胎内パークホテルの入り込みを図る取り組みとして、国内エージェント等への営業を積極的に展開する。また、冬季間のレジャー施設であるスキー場以外のアクティビティ（体験プログラムなど）を充実させ魅力ある冬の胎内をPRする。 ・「米粉のまち」として、市内のお菓子店等を対象に新たな米粉のレシピ開発などを行う。 ・インバウンドの誘客については、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら定住自立圏広域観光推進協議会において新発田市・聖籠町と連携をしながら取り組みを進める。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R1		R2		達成度	施策目標 に対する 貢献	一次評価 今後の 方向性	二次評価 今後の 方向性	主な事業	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源						
330110	チューリップフェスティバル事業	2,799	2,799	2,977	2,977	◎	○	③	③		農林水産課
330111	フルーツパーク運営事業	10,008	9,659	10,327	9,426	×	△	③	③		農林水産課
330112	フラワーパーク運営事業	4,934	4,049	5,769	4,933	△	△	③	③		農林水産課
330120	避難小屋・登山道関連事業	7,346	5,403	8,972	6,067	◎	○	③	③		商工観光課
330210	農業まつり事業	473	473	521	521	○	△	③	③		農林水産課
330220	特産物加工施設(みゆき庵)管理事業	829	745	1,317	1,217	◎	○	③	③		商工観光課
330310	塩の湯施設管理事業	10,161	8,279	117,246	7,383	○	○	③	③	○	商工観光課
330311	海水浴場管理運営事業	2,551	2,434	2,720	2,603	×	△	③	③		商工観光課
330312	はまなすの丘維持管理事業	1,850	1,757	1,593	1,487	○	○	③	③		商工観光課
330313	観光物産館管理事業	3,795	3,768	2,452	2,425	△	○	③	③		商工観光課
330314	地本水芭蕉維持管理事業	633	633	668	668	◎	○	③	③		商工観光課
330315	その他観光施設運営事業	5,430	5,081	6,818	6,477	×	△	③	③		商工観光課
330316	ロイヤル胎内パークホテル運営事業	196,827	110,280	161,739	79,268	○	○	③	②	○	商工観光課
330317	奥胎内ヒュッテ管理事業	50,052	1,042	2,958	948	△	○	③	②		商工観光課
330318	クアハウスたいない管理事業	38,814	38,738	38,081	38,028	○	○	⑤	⑤		商工観光課
330319	樽ヶ橋遊園運営事業	145,808	0	528,143	0	◎	○	①	①	○	商工観光課
330320	胎内スキー場管理事業	203,118	25,232	34,355	21,167	×	○	③	③	○	商工観光課
330321	フィッシングパーク管理事業	73	73	480	453	○	○	③	③		商工観光課
330322	観光交流センター運営事業	11,325	11,325	11,166	11,131	◎	○	③	②		商工観光課
330410	観光振興事業	41,978	40,978	37,435	36,426	○	○	③	②	○	商工観光課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330110		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係					
事務事業名	チューリップフェスティバル事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大	33	観光・交流	款	06	農林水産業費	
施策	15	観光・交流			中	01	魅力的な観光プランの提供		項	01	農業費
					小	10	チューリップフェスティバル事業		目	05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連条例			関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市及びチューリップフェスティバル実行委員会が主催となり、観光と農業を結びつけたイベントを開催し、市産チューリップの振興と地域の活性化を図る。
主な実施内容	チューリップフェスティバルの開催 ・オープニングイベント ・チューリップウエディング ・ヘリコプター遊覧飛行 ・チューリップ写真コンテスト
実施方法	市が直接実施+委託+補助・負担

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	5,104	5,070	2,799	2,977	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
一般財源	5,104	5,070	2,799	2,977	
人件費（千円）	0	0	0		
正(h) ※事業費	○ 185	185	185		
臨時(h) ※事業費	○ 342	342	0		
総事業費+人件費	5,104	5,070	2,799		
財源「その他」内訳	時間手当529千円、印刷製本費194千円、栽培管理委託料2,042千円				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開催日数	開催日数	市内事業者出店数	市内事業者出店数	市内事業者出店数
	目標	14日間	14日間	9事業者	10事業者	11事業者
	実績	14日間	11日間	6事業者		
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数
	目標	60,000人	60,000人	60,000人	60,000人	60,000人
	実績	63,898人	46,434人	68,501人		
	目標比	106.0%	77.3%	114.0%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	△	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	改元に伴い大型連休となったことや連休終盤の好天に恵まれたため。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○											
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○											
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○											
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△											
効率性	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△											
	協働または民間への外部化が不可能な理由												
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△											
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○											
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-											
	算出方法	総事業費/入場者数											
	実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績</td> <td>80</td> <td>110</td> <td>41</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	実績	80	110	41	
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度								
実績	80	110	41										

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

【H29～】
既存のチューリップウエディング・ヘリコプター遊覧飛行等の他新しいイベントを計画し誘客を図った。
動物ふれあい広場の開催を計画、開催（H30は雨天の為中止）

【H31～】
市予算から実行委員会会計への一部予算移行を行い経費削減を図った。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び改善後の対応	・フェスティバル期間に行う各種イベント・出店について再考する。 ・リゾート地区とフェスティバル会場をつなぐ仕掛けを試みて更に市外からの誘客を図る。

8 二次評価

今後の方向性	③				
所見					
成果の方向性	拡充	◎	④	②	①
	維持	◎	⑤	③	◎
	縮小	◎	⑥	◎	◎
	休廃止	◎	⑦	◎	◎
		削減	◎	◎	◎
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330111		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係				
事務事業名	フルーツパーク運営事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	06	農林水産業費
施策	15	観光・交流		中	01	魅力的な観光プランの提供		項	01	農業費
				小	11	フルーツパーク運営事業		目	05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連条例		関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市直営の果樹園として、もぎ取り体験等を通し市民へのやすらぎある憩いの場の提供、都市農村交流の拡大及び果樹の振興と活性化を図る。
主な実施内容	・果樹栽培の計画見直し ・施設の維持管理及び果樹栽培を外部委託
実施方法	委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	11,507	11,508	10,008	10,327	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	2,240	454	349	901	
一般財源	9,267	11,054	9,659	9,426	
人件費（千円）	0	0	0		
正(h) ※事業費	0	0	0		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	11,507	11,508	10,008		
財源「その他」内訳	フルーツパーク生産物販売収入 349千円				
事業費の主な支出内容	火災保険料8千円 管理委託料10,000千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	栽培本数	栽培本数	栽培本数
	目標	150日	150日	500本	750本	1,000本
	実績	153日	153日	481本		
成果指標	名称	入園来場者数	入園来場者数	収穫量	収穫量	収穫量
	目標	1,300人	1,300人	970Kg	950kg	1,000kg
	実績	1,021人	40人	390Kg		
	目標比	78.5%	3.1%	40.2%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	×	×	×		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	毎年もぎ取り体験等行ってきたが、気象状況による影響等で安定した生産量の確保ができず目標達成ができなかった、また熊が出没した為営業が困難な状況である。その為果樹栽培計画の見直しを行い、果樹の伐採や新たな加工用ブドウ苗の植栽を行った。				

5 事業の点検項目

事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○：需要がある △：一部需要がある ▲需要が低下している ×：あまり需要が無い	△
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	△
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	
類似した事業が実施されていないか	○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
	住民等の参画、協働は可能か	△
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△
事業費や人件費に削減の余地はないか	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	
	受益者負担は事業コストに対して適正か	-
効率性	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	
	単位コスト	算出方法
	実績	平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

【H29】	ワイン増産に向け果樹栽培計画を見直し、加工用ブドウの栽培を行った。
-------	-----------------------------------

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び改善後の対応	ワインの需要増による増産に向けて、加工用ぶどうの生産に移行していく。

8 二次評価

今後の方向性	③
所見	

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330112		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係					
事務事業名	フラワーパーク運営事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	06	農林水産業費
施策	15	観光・交流			中	01	魅力的な観光プランの提供		項	01	農業費
					小	12	フラワーパーク運営事業		目	06	フラワーパーク費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連条例				関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内リゾートエリア内にある施設であることから周辺観光施設と連携し、市民へのやすらぎある憩い場の提供、観光交流人口の拡大及び園芸の振興の地域活性化を図る。
主な実施内容	ロイヤル胎内パークホテル及び周辺観光施設と連携し誘客を図った。春から秋にかけての草花や草木を植栽しているほか、芝広場や東屋の設置により様々な年齢層の人々が憩える空間を作っている。ボランティアを受け入れ、園内整備を行い、経費削減を図った。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	13,432	12,819	4,934	5,769	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	649	1,190	885	836	
一般財源	12,783	11,629	4,049	4,933	
人件費（千円）	3,866	371	380		
正(h) ※事業費	2,100	200	200		
臨時(h) ※事業費 ○	6,451	6,451	1,757		
総事業費+人件費	17,298	13,190	5,314		
財源「その他」内訳	人工培養施設使用者負担 194千円				
事業費の主な支出内容	賃金1,667千円 需用費680千円 委託料793千円 原材料費1,463千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	188日	188日	188日	188日	188日
	実績	191日	190日	190日		
成果指標	名称	入園来場者数	入園来場者数	入園来場者数	入園来場者数	入園来場者数
	目標	4,000人	4,000人	4,000人	4,000人	4,000人
	実績	3,389人	2,300人	2,300人		
	目標比	84.7%	57.5%	57.5%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	△	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	GWの大型連休もあったが、開園中を通して概ね昨年並と思われる。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	△
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	△
	類似した事業が実施されていないか	○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
	住民等の参画、協働は可能か	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	○
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	○
	協働または民間への外部化が不可能な理由		
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	×
	事業費や人件費に削減の余地はないか	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
	受益者負担は事業コストに対して適正か	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-
	効率性	単位コスト	算出方法
	実績		平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

【H30】	施設管理職員1名を臨時職員に変更し経費削減を図った。
【R1】	入園料を無料化して公園的な管理とし、臨時職員の人員削減、シルバー人材の活用及びボランティアの協力により管理経費を削減した。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の改善方法の対応	近隣リゾート施設との連携を図り集客に努める。

8 二次評価

今後の方向性	③																									
所見																										
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×	削減		縮小	維持	拡大
拡充	×	④	②	①																						
維持	×	⑤	③	×																						
縮小	×	⑥	×	×																						
休廃止	⑦	×	×	×																						
削減		縮小	維持	拡大																						
コスト投入の方向性																										

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330120		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係			
事務事業名	避難小屋・登山道関連事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
施策	15	観光・交流		中	01	魅力的な観光プランの提供	項	01	商工費
				小	20	避難小屋・登山道関連事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令					
	法令による義務付け			任意	関連条例			関連計画	第2次樽ヶ橋エリア活性化基本計画・実施計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	登山者の安全と利便を図るため、避難小屋及び登山道の整備、管理を行い、飯豊連峰、楡形山脈の魅力発信する。
主な実施内容	・飯豊連峰、楡形山脈の登山道の草刈等維持管理 ・門内岳避難小屋・頼母木避難小屋の夏場の常駐、維持管理
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	5,357	7,368	7,346	8,972	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	3	1,376	1,943	2,905	
一般財源	5,354	5,992	5,403	6,067	
人件費（千円）	514	520	532		
正(h) ※事業費	279	280	280		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	5,871	7,888	7,878		
財源「その他」内訳	寄付金、避難小屋売店収入、負担金				
事業費の主な支出内容	需用費1,379千円 職員手当等226千円 委託料4,401千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	①飯豊連峰登山道維持管理期間 ②各避難小屋常駐管理期間	①飯豊連峰登山道維持管理期間 ②各避難小屋常駐管理期間	①飯豊連峰登山道維持管理期間 ②各避難小屋常駐管理期間	①飯豊連峰登山道維持管理期間 ②各避難小屋常駐管理期間	①飯豊連峰登山道維持管理期間 ②各避難小屋常駐管理期間
	目標	①209日間 ②62日間	①209日間 ②62日間	①209日間 ②78日間	①209日間 ②78日間	①209日間 ②78日間
	実績	①209日間 ②62日間	①209日間 ②62日間	①208日間 ②57日間		
成果指標	名称	①楡形山脈登山者数 ②飯豊連峰登山者数	①楡形山脈登山者数 ②飯豊連峰登山者数	①楡形山脈登山者数 ②飯豊連峰登山者数	①楡形山脈登山者数 ②飯豊連峰登山者数	①楡形山脈登山者数 ②飯豊連峰登山者数
	目標	①9,042人 ②2,222人	①9,042人 ②2,222人	①9,042人 ②2,222人	①9,042人 ②2,222人	①9,042人 ②2,222人
	実績	①6,970人 ②790人	①9,600人 ②4,330人	①10,010人 ②3,450人		
	目標比	①77% ②35%	①106% ②195%	①110% ②155%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	×	◎	◎		
達成度の判定理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 管理期間の天候が安定したことで利用者が増えたと思われる。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	×
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
効率性	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-
	算出方法 総事業費/登山者数 実績 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 690円 528円 545円	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

【H30】
飯豊連峰避難小屋（門内、頼母木）の窓枠及び壁補修等を行った。
新たな観光スポットとして奥胎内のブナ巨樹エリアの歩道整備及び周辺環境整備を行った。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の対応方法	貴重な自然が手つかずで残る飯豊連峰や日本一小さい山脈である楡形山脈の環境を維持していくことは、現在を生きる我々だけではなく、後世へ受け継ぐべき重要なことである。登山者の安全確保、利便性も合わせ、維持管理業務は不可欠である。そのため、H23年度より飯豊連峰の避難小屋管理及び登山道整備等を飯豊・胎内の会に委託し、今後さらに行き届いた管理整備ができるよう推進していく。山の会等の関係者との連携を密にし、管理していくことが重要である。

8 二次評価

今後の方向性	③																														
所見	将来的な管理者の確保を含め、今後の管理体制のあり方について検討しておく必要がある。																														
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×	削減		縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性				
拡充	×	④	②	①																											
維持	×	⑤	③	×																											
縮小	×	⑥	×	×																											
休廃止	⑦	×	×	×																											
削減		縮小	維持	拡大																											
コスト投入の方向性																															

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330210		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係				
事務事業名	農業まつり事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	06	農林水産業費
施策	15	観光・交流		中	02	食、アクティビティの魅力向上による消費・販売機会の拡大		項	01	農業費
				小	10	農業まつり事業		目	05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例			関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地域の特性を活かした農産物、加工品等を販売するイベントを開催し、市民への周知と消費拡大により地域活性化を図る。
主な実施内容	・農業まつり（胎内いいもんまつり）の開催
実施方法	市が直接実施＋補助・負担

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	461	439	473	521	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
一般財源	461	439	473	521	
人件費（千円）	736	742	760		
正(h) ※事業費	400	400	400		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費＋人件費	1,197	1,181	1,233		
財源「その他」内訳	職員手当51千円、報償費53千円、印刷製本費53千円、音響設備等機器借上料224千円				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開催日数	開催日数	開催日数	開催日数	開催日数
	目標	1日	1日	1日	1日	1日
	実績	1日	1日	1日		
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数
	目標	6,000人	6,000人	6,000人	6,000人	6,000人
	実績	2,100人	3,500人	5,000人		
	目標比	35.0%	58.0%	83.0%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	×	△	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	過去2年開催中は雨などの影響により来場者数は伸びなかったが、R1年度は雨が降らなかった分、来場者が増えたのではと思われる。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	△
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	×
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	協働または民間への外部化が不可能な理由 中条町商工会と胎内市の共催であり、主に商工会がイベントを企画、運営し経費も負担しているため。	
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-
単位コスト	算出方法	総事業費/入場者数
	実績	平成29年度 220 平成30年度 126 令和元年度 95 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

【H30】	高所作業車乗車体験イベントなどを実施し誘客を図った。
【R1】	やらにゃんドームを設置し誘客を図ったが強風のため、設置を見送る。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の対応	地域の方々への農産物等の周知と消費拡大を図るために継続していく。雨天時の対応など会場も含め検討が必要。 同時開催としてJA感謝祭、黒川産業まつりとの3会場を結ぶシャトルバスを2台運行しているが乗車人数が少なく運行時間、運行台数の検討が必要

8 二次評価

今後の方向性	③				
所見	胎内いいもんまつり、黒川産業まつり、米粉フェスタを、イベントの統合も含めて今後どうするかを、関係課及び関係機関で協議する。				
成果の方向性	今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330220		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係				
事務事業名	特産物加工施設（みゆき庵）管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
施策	15	観光・交流		中	02	食、アクティビティの魅力向上による消費・販売機会の拡大		項	01	商工費
				小	20	特産物加工施設（みゆき庵）管理事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例	胎内市特産物加工施設条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地場産の食材を使用したそば等を提供することで、地域農産物の活用と活性化を図る。
主な実施内容	そば処みゆき庵の管理・運営を行う。 平成22年度より、指定管理者に運営を委託。
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	1,112	511	829	1,317	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	84	100	
一般財源	1,112	511	745	1,217	
人件費（千円）	221	223	228		
正(h) ※事業費	120	120	120		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	1,333	734	1,057		
財源「その他」内訳	修繕費、工事請負費				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	-	-
	目標	365	365	365	-	-
	実績	351	351	365		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	-	-
	目標	23,800人	23,900人	22,700人	-	-
	実績	21,380人	23,033人	25,340人		
	目標比	90%	96%	112%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	定められた目標を概ね達成できた。				

5 事業の点検項目

事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	
類似した事業が実施されていないか	○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
	住民等の参画、協働は可能か	○
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	○
事業費や人件費に削減の余地はないか	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	
	受益者負担は事業コストに対して適正か	○
効率性	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	
	算出方法	総事業費／利用者数
	実績	平成29年度 52円 平成30年度 22円 令和元年度 32円 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

- 施設単体の業績は概ね良好であり、計画的な維持修繕を基本としている。
- ロイヤル胎内パークホテルの入浴券付き滞在プラン等の販売など、他施設への経済波及施策を随時実施している。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の改善方法	<ul style="list-style-type: none"> 現在、施設の維持管理に必要な最低限度の予算のみが計上しており、これ以上の予算削減等は難しい。 胎内リゾート他施設への経済波及施策を検討、実施していく。

8 二次評価

今後の方向性	③																									
所見																										
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×	削減		縮小	維持	拡大
拡充	×	④	②	①																						
維持	×	⑤	③	×																						
縮小	×	⑥	×	×																						
休廃止	⑦	×	×	×																						
削減		縮小	維持	拡大																						
コスト投入の方向性																										

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330310		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係				
事務事業名	塩の湯施設管理事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目			
施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		款	03	民生費
				小	10	塩の湯施設管理事業		項	01	社会福祉費
事務区分	法定受託事務		根拠法令							
	法令による義務付け		任意	関連条例	サンセット中条条例、高齢者健康増進ふれあい施設条例			関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理制度により塩の湯温泉施設の管理運営を行い、健康増進と寄りあいの場を提供する。
主な実施内容	塩の湯施設の温泉の運営・管理を行う。 平成17年度より指定管理者制度に移行 ・村松浜健康増進広場 ・村松浜高齢者健康増進ふれあい施設 ・サンセット中条
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	33,232	32,723	10,161	117,246	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	20,100	22,400	0	108,000	
その他	1,809	1,856	1,882	1,863	
一般財源	11,323	8,467	8,279	7,383	
人件費（千円）	442	408	418		
正(h) ※事業費	240	220	220		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	33,674	33,131	10,579		
財源「その他」内訳	敷地使用料、給湯業務等受託収入				
事業費の主な支出内容	修繕費、委託料、借地料				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	343日	343日	343日	344日	344日
	実績	344日	343日	344日		
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数
	目標	101,000人	103,020人	103,200人	105,200人	105,200人
	実績	95,565人	99,595人	100,160人		
	目標比	94.6%	96.6%	97.0%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	目標とする入館者数には達しなかったが、令和2年度から指定管理者が変更となる。入館者を増加させるように努める。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△
効率性	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-
	算出方法 総事業費／年間利用者数 ※工事費を除く 実績 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 137円 103円 101円	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

【H30】 辺地対策事業債を活用した工事 ・サンセット中条空調設備改修工事 ・温泉供給管布設替工事
--

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題 改及 革び 改今 善後 方の 法対 応・	築20年以上が経過し、施設の老朽化により故障箇所が多々発生している。計画的に修繕しているが、対応が追いつかず、今後も施設の維持管理を続けていかなければならない。また、入館者数を増やすような取り組みを行うよう指定管理者と協議して進めて行かなければならない。辺地債を活用し施設改善（浴室、脱衣所など）を進める。

8 二次評価

今後の方向性	③																																								
所見	売上を上げるための方策を指定管理者と協議する。令和3年度に予定している大規模改修後の料金の見直しについて検討する。																																								
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">今後の方向性</th> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> <td>⑬</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	今後の方向性				拡充	④	②	①	維持	⑤	③	④	縮小	⑥	⑦	⑧	休廃止	⑦	⑧	⑨	削減	⑧	⑨	⑩	縮小	⑨	⑩	⑪	維持	⑩	⑪	⑫	拡大	⑪	⑫	⑬	コスト投入の方向性			
今後の方向性																																									
拡充	④	②	①																																						
維持	⑤	③	④																																						
縮小	⑥	⑦	⑧																																						
休廃止	⑦	⑧	⑨																																						
削減	⑧	⑨	⑩																																						
縮小	⑨	⑩	⑪																																						
維持	⑩	⑪	⑫																																						
拡大	⑪	⑫	⑬																																						
コスト投入の方向性																																									

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330311		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係				
事務事業名	海水浴場管理運営事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
				小	11	海水浴場管理運営事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例				関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市内はもとより市外からの観光誘客を図るために、村松浜に海水浴場を設置し、海水浴場開設期間中の場内を安全と衛生を保つ。
主な実施内容	海岸に安全を確保できる範囲・深さの区画を指定し、夏期の一定期間、海水浴場として開放し安全管理と運営を行う。
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	1,784	2,062	2,551	2,720	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	117	117	117	117	
一般財源	1,667	1,945	2,434	2,603	
人件費（千円）	214	56	95		
正(h) ※事業費	116	30	50		
臨時(h) ※事業費 ○	467	0	0		
総事業費+人件費	1,998	2,118	2,646		
財源「その他」内訳	旧村松浜小グラウンド使用料				
事業費の主な支出内容	光熱水費107千円 委託料1,767千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開設期間	開設期間	開設期間	開設期間	開設期間
	目標	33日間	34日間	35日間	35日間	35日間
	実績	34日間	35日間	36日間		
成果指標	名称	開設期間中の来場者数	開設期間中の来場者数	開設期間中の来場者数	開設期間中の来場者数	開設期間中の来場者数
	目標	5,790人	5,890人	5,990人	5,990人	5,990人
	実績	3,910人	4,030人	3,140人		
	目標比	67.5%	68.5%	52.4%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	△	△	×		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	開設期間中の天候が不安定であり、中止せざるを得ない日が多くなった。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	▲				
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い					
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	△				
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない					
	類似した事業が実施されていないか	○				
	○：類似事業がない ×：類似事業がある					
	住民等の参画、協働は可能か	△				
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済					
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	△				
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済					
協働または民間への外部化が不可能な理由						
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△				
	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要					
	事業費や人件費に削減の余地はないか	○				
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり					
	受益者負担は事業コストに対して適正か	-				
○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない						
単位コスト	算出方法	総事業費／来場者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		456円	511円	812円		

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

【H29】	海水浴場の誘客を図るため、国道からの入口付近にのぼり旗を設置した。
-------	-----------------------------------

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題	来場者数については、開設期間の天候状況により変動するものの年々減少傾向であり今後の事業の在り方について困惑している。また、村松浜海水浴場は、村上市の瀬波や笹川流れ、新発田市の藤塚浜といったポピュラーな海水浴場に挟まれていることもあり、海水浴客がさらに少ない現状である。しかし、釣り具の有名メーカー主催による釣り大会が2～3回行われ釣りには適した場所ということから、視点を変えた観光資源の利用も一つであるとする。

8 二次評価

今後の方向性	③				
所見	管理費用に充てる協力金の徴収について釣り大会の主催者と協議を行う。				
成果の方向性	今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330312		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係					
事務事業名	はまなすの丘維持管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
施策	15	観光・交流			中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
					小	12	はまなすの丘維持管理事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連条例				関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	昭和59年に新潟県が指定した桃崎浜自然環境保全地域の、学術的にも貴重なハマナスなどの海岸植物の群生地を、来場者に親しんでいただける環境を整備し、誘客を図る。
主な実施内容	はまなすの丘の来場者に親しんでいただけるよう、はまなすの丘展望台・通路・トイレ等を維持管理する。
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	4,033	11,080	1,850	1,593	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	9,500	0	0	
その他	71	87	93	106	
一般財源	3,962	1,493	1,757	1,487	
人件費（千円）	144	93	95		
正(h) ※事業費	78	50	50		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	4,177	11,173	1,945		
財源「その他」内訳	敷地使用料 自動販売機収入				
事業費の主な支出内容	委託料 園路舗装工事				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開設日数	開設日数	開設日数	開設日数	開設日数
	目標	365日	365日	366日	365日	365日
	実績	365日	365日	365日		
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数
	目標	119,240人	119,740人	120,240人	119,740人	119,740人
	実績	111,700人	89,350人	99,280人		
	目標比	93.7%	74.6%	82.5%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	△	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	H30に東屋周辺を整備した影響か、人数が増加したのではないかと考えている。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○				
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○				
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施				
効率性	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施				
	協働または民間への外部化が不可能な理由					
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○				
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○				
受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-					
単位コスト	算出方法	総事業費/来場者数 ※工事費を除く				
実績		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		36円	17円	18円		

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

【H30】新潟県が指定する桃崎浜自然環境保全地域の東屋周辺の園路舗装工事を行った。
【R1】はまなすの丘といえ、段々咲かなくなっているため改善が必要である。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び改善後の対応	一部の海岸植物が退化している状況であり、今後は自然保護審議会委員からの意見、指導により景観づくりに努める。

8 二次評価

今後の方向性	③																													
所見	今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>				拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×		削減	縮小	維持	拡大
	拡充	×	④	②	①																									
	維持	×	⑤	③	×																									
	縮小	×	⑥	×	×																									
	休廃止	⑦	×	×	×																									
	削減	縮小	維持	拡大																										
コスト投入の方向性																														

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330313		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係				
事務事業名	観光物産館管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
				小	13	観光物産館管理事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例	きのと観光物産館条例	関連計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理制度によりきのと観光物産館の利用者に観光情報および食事・休憩スペースを提供することで、地域の観光振興と活性化を図る拠点として整備する。
主な実施内容	きのと観光物産館に観光情報コーナーや食事・休憩スペースを整備し、施設の維持管理を行う。
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	4,639	9,143	3,795	2,452	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	4,000	0	0	
その他	27	27	27	27	
一般財源	4,612	5,116	3,768	2,425	
人件費（千円）	427	408	418		
正(h) ※事業費	232	220	220		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	5,066	9,551	4,213		
財源「その他」内訳	敷地使用料				
事業費の主な支出内容	修繕費238千円 委託料2,270千円 工事請負費6,605千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	313日間	313日間	313日	313日	313日
	実績	310日間	310日間	310日間		
成果指標	名称	入込人数	入込人数	入込人数	入込人数	入込人数
	目標	36,750人	37,050人	37,350人	37,350人	37,350人
	実績	24,260人	23,386人	21,955人		
	目標比	66.0%	63.1%	58.7%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	指定管理になり、2年目になるが目標にはほど遠い数字となった。来年度以降は指定管理者に働きかけし、入館者を増加させるように努める。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
効率性	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-
	算出方法 総事業費/入込人数 ※工事費は除く 実績 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 191円 219円 172円	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

平成29年度より指定管理を行っている。指定管理者の企業努力により、年々マイナスが減少している。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の改善方法	平成29年度より指定管理者制度を導入しているが、見込んでいた売上額は概ね達成している。施設の維持管理については乙区の団体と委託契約を交わしており、今後も継続していく方向である。当施設は乙地区で唯一のお食事処として親しまれており、重要な施設であるため修繕等を計画的に行い維持していく方向である。

8 二次評価

今後の方向性	③																														
所見	今後の方向性	③																													
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×		削減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性			
拡充	×	④	②	①																											
維持	×	⑤	③	×																											
縮小	×	⑥	×	×																											
休廃止	⑦	×	×	×																											
	削減	縮小	維持	拡大																											
コスト投入の方向性																															

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330314		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係					
事務事業名	地本水芭蕉維持管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
施策	15	観光・交流			中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
					小	14	地本水芭蕉維持管理事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連条例	関連計画					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地本地区で昭和38年に新潟県天然記念物に指定された水芭蕉を保護育成し、来場者や市民に親しんでもらえる周辺環境の整備を行う。
主な実施内容	水芭蕉群生地・湧水の里自然ふれあい公園周辺のヨシ伐採等による周辺環境の維持管理を行う。 ※地本地区の水芭蕉は高山湿原に自生する植生でありながら海岸から2km、海拔10mの地域に群生していることで新潟県指定天然記念物に指定され、現在も約2万㎡の地域に1万7千株が群生している。 また周辺は新潟県絶滅危惧Ⅰ類に指定されたイバラトミヨの生息地であり、併せて保全活動が行われている。
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	650	626	633	668	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
一般財源	650	626	633	668	
人件費（千円）	99	100	103		
正(h) ※事業費	54	54	54		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	749	726	736		
財源「その他」内訳	委託料				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	ヨシ伐採活動回数	ヨシ伐採活動回数	ヨシ伐採活動回数	-	-
	目標	2回	2回	2回	-	-
	実績	2回	2回	2回		
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	-	-
	目標	2,440人	2,540人	2,640人	-	-
	実績	4,760人	3,940人	4,410人		
	目標比	195.0%	155.0%	167.0%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	ミズバショウの見頃時期に天候が安定し目標としていた数字を大きく上回った。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△
効率性	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-
	算出方法	総事業費／来場者数
	実績	平成29年度 136円 平成30年度 158円 令和元年度 143円 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

ベンチを設置し、休憩場所を設置した。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の対応方法	地本のミズバショウは新潟県の天然記念物に指定されており、3月下旬～5月上旬の期間で来場者数が4千人程度となっている。 ミズバショウが終わるとノウルシの黄色い花が一面に咲いている状況からエリア内の整備等も含め、今後も同様に管理をしていく考えである。

8 二次評価

今後の方向性	③			
所見				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	⑧		
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330315		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係					
事務事業名	その他観光施設運営事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
施策	15	観光・交流			中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
					小	15	その他観光施設運営事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連条例	胎内市生産物直売直食所条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	樽ヶ橋駐車場と、胎内平の拠点となるグリーンハウスたいないを整備し、イベントや周辺施設の活性化を図る。
主な実施内容	樽ヶ橋エリア、胎内平エリア、その他観光施設の除草や修繕等の維持管理
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	7,653	9,262	5,430	6,818	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	434	472	349	341	
一般財源	7,219	8,790	5,081	6,477	
人件費（千円）	4,109	3,970	4,062		
正(h) ※事業費	2,232	2,139	2,139		
臨時(h) ※事業費 ○	3,906	3,906	3,797		
総事業費+人件費	11,762	13,232	9,492		
財源「その他」内訳	行政財産使用料（樽ヶ橋駐車場と自販機手数料）				
事業費の主な支出内容	共済費、賞金、需用費（光熱水費、燃料費、修繕費） 役務費（浄化槽維持管理、自動車保険、重量税）				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	グリーンハウスたいない営業日数	グリーンハウスたいない営業日数	グリーンハウスたいない営業日数	-	-
	目標	20日間	20日間	20日間	-	-
	実績	19日間	21日間	20日間		
成果指標	名称	グリーンハウスたいない利用者数	グリーンハウスたいない利用者数	グリーンハウスたいない利用人数	-	-
	目標	1,700人	1,700人	1,100人	-	-
	実績	547人	410人	740人		
	目標比	32.0%	24.0%	67.0%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	×	×	×		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	草花菜会の営業回数と婚活プランの実施回数の減、胎内星まつり期間中の利用者数が例年より半数近くの減であったことなどにより目標を達成できなかった。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	▲
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	△
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△
効率性	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	△
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	△
	算出方法 総事業費/利用者数 実績 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 1,399円 2,259円 7,337円	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

【R1】	・樽ヶ橋エリア内食堂の指定管理者が変更となり更に来場者が見込める。
------	-----------------------------------

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の改善方法の対応	・第2次胎内市観光振興ビジョンに対応した維持・管理が必要となる。胎内市への誘客を促進するため、今後も各観光エリアの維持・管理をしていかなければならない。

8 二次評価

今後の方向性	③																																			
所見	樽ヶ橋エリア駐車場の舗装の更新を行う。																																			
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td colspan="5">今後の方向性</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	今後の方向性					拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×		削減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性				
今後の方向性																																				
拡充	×	④	②	①																																
維持	×	⑤	③	×																																
縮小	×	⑥	×	×																																
休廃止	⑦	×	×	×																																
	削減	縮小	維持	拡大																																
コスト投入の方向性																																				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330316		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係				
事務事業名	ロイヤル胎内パークホテル運営事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
				小	16	ロイヤル胎内パークホテル運営事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			任意	関連条例	胎内市交流促進施設条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内市の観光拠点となるロイヤル胎内パークホテルを管理し、宿泊・温泉・食事等の施設サービスを提供するとともに、市民に地域活動への積極的な参加を促し、都市との交流や各種の活動を通じて創意と工夫に基づく地域活動を推進する。
主な実施内容	ロイヤル胎内パークホテルの管理・運営を行う。 平成22年度より指定管理者に運営を委託
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	251,508	114,570	196,827	161,739	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	171,900	31,200	83,600	28,700	
その他	2,470	2,470	2,947	53,771	
一般財源	77,138	80,900	110,280	79,268	
人件費（千円）	447	445	456		
正(h) ※事業費	240	240	240		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	251,955	115,015	197,283		
財源「その他」内訳	辺地対策事業債、光熱水費負担金、敷地使用料ほか				
事業費の主な支出内容	胎内リゾート施設管理運営委託料 交流促進施設改修工事費（辺地債事業）				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	365日	365日	365日	366日	365日
	実績	365日	365日	365日		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	宿泊客数	宿泊客数	宿泊客数
	目標	68,000人	69,000人	13,100人	14,200人	14,500人
	実績	73,630人	79,030人	12,350人		
	目標比	108.3%	114.5%	94.2%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	定められた目標を概ね達成できた。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	○
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	○
単位コスト	算出方法 総事業費/利用者数 ※工事費を除く 実績 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 1,080円 1,054円 9,168円	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

- ・月1回の取締役会、(株)胎内リゾート役員及び市担当職員による週1回の定例会により、スピード感をもった経営改善化策が講じられる体制が構築された。
- ・大規模都市圏からの団体誘客強化に努め、平日の稼働率向上につながった。
- ・台湾へのトップセールスを行い、インバウンド誘客を図った。
- ・展望露天風呂の全面改修を行い、施設の魅力向上を図った。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題 改及 革 改 今 善 後 方 の 法 対 応	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者である(株)胎内リゾート若手職員に、観光振興推進サポーターを交え、春夏/秋冬を軸に「宿泊プラン」「レストランメニュー」「ベーカリーメニュー」「カフェメニュー」「売店ラインナップ」及びそれらを販売するための「キャンペーン・PR戦略」を開発する商品開発プロジェクトを開始。2020年秋冬以降の業績寄与につなげる。 ・ホテルフロントシステム・POSシステムの入替により事務作業の効率化、乗り入れ旅行代理店の増加を図る。

8 二次評価

今後の方向性	②																												
所見	業績を拡大させ、それに伴い指定管理料を減額していく。																												
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td>縮小</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	拡充	④	②	①	維持	⑤	③		縮小	⑥			休廃止	⑦			削減		縮小	維持				拡大	コスト投入の方向性			
拡充	④	②	①																										
維持	⑤	③																											
縮小	⑥																												
休廃止	⑦																												
削減		縮小	維持																										
			拡大																										
コスト投入の方向性																													

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330317		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係						
事務事業名	奥胎内ヒュッテ管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計				
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費	
施策	15	観光・交流			中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費	
					小	17	奥胎内ヒュッテ管理事業		目	03	観光費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令							
	法令による義務付け		任意		関連条例	胎内市奥胎内野営場宿泊休養施設条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	奥胎内の大自然の立地条件を生かし、大自然を体感できる宿泊施設及び憩いの場を提供する。
主な実施内容	奥胎内ヒュッテの管理運営を行う。 平成22年度より、指定管理者に運営を委託。
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	766	8,022	50,052	2,958	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	6,300	49,000	2,000	
その他	0	490	10	10	
一般財源	766	1,232	1,042	948	
人件費（千円）	442	445	456		
正(h) ※事業費	240	240	240		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	1,208	8,467	50,508		
財源「その他」内訳	辺地対策事業債、敷地使用料ほか				
事業費の主な支出内容	国有林借地料 修繕費				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	150日	150日	150日間	150日間	150日間
	実績	107日	154日	158日		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	宿泊客数	宿泊客数	宿泊客数
	目標	9,000人	9,500人	1,200人	1,300人	1,900人
	実績	6,950人	6,380人	970人		
	目標比	77.2%	67.2%	80.8%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	△	△	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	定められた目標をやや達成していないため				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○			
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○			
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○			
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	○			
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施			
	協働または民間への外部化が不可能な理由				
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○			
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○			
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	○			
単位コスト	算出方法 総事業費÷利用者数 ※工事費を除く				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	110円	269円	530円		

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

- ・月1回の取締役会、(株)胎内リゾート役員及び市担当職員による週1回の定例会により、スピード感をもった経営改善化策が講じられる体制が構築された。
- ・奥胎内ダムツアー、奥胎内巨樹巡礼ツアーの商品化により日帰り客が大幅に増加した。
- ・4階フロアを飯豊連峰登山者向けに販売するための準備作業を実施。
- ・辺地債事業を活用して公衆トイレを新設した。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題 改及 革び 改今 善後 方の 法対 応・	・体験プログラム等の充実で日帰り客は大幅に増加したが、宿泊客数、ランチの売上をはじめ、奥胎内ヒュッテの業績につながっていない。このため、(株)胎内リゾート若手職員に、観光振興推進サポーターを交え、春夏/秋冬を軸に「宿泊プラン」「レストランメニュー」及びそれらを販売するための「キャンペーン・PR戦略」を開発する商品開発プロジェクトを開始し2020年秋冬以降の業績寄与につなげる。

8 二次評価

今後の方向性	②			
所見	業績を拡大させ、それに伴い指定管理料を減額していく。			
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	④	⑤
	休廃止	⑦	⑤	⑥
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330318		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係				
事務事業名	クアハウスたいない管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
				小	18	クアハウスたいない管理事業		目	04	クアハウスたいない費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			任意	関連条例	クアハウスたいない条例		関連計画	第2次樽ヶエリア活性化基本計画・実施計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度によりクアハウスたいないを運営し、住民および市内に訪れる人々の保養と健康増進の場を提供する。
主な実施内容	・プール、温泉、トレーニング設備等の管理運営
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	45,292	150,895	38,814	38,081	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	10,600	113,649	0	0	
その他	52	52	76	53	
一般財源	34,640	37,194	38,738	38,028	
人件費（千円）	342	518	530		
正(h) ※事業費	186	279	279		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	45,634	151,413	39,344		
財源「その他」内訳	敷地使用料72千円				
事業費の主な支出内容	指定管理料36,951千円、修繕費734千円など				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	354日間	354日間	354日間	355日間	354日間
	実績	354日間	293日間	354日間		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	138,000人	140,000人	111,000人	113,000人	115,000人
	実績	102,078人	85,485人	101,570人		
	目標比	74.0%	61.0%	91.5%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	△	△	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	定められた目標を概ね達成できた。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○				
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	×				
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	○				
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施				
効率性	協働または民間への外部化が不可能な理由					
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△				
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	△				
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	△				
単位コスト	算出方法	総事業費÷利用者数 ※工事費を除く				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		339円	435円	374円		

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から運営の改善等を図るため毎月1回、指定管理者先の担当者と打合せをしている 維持管理経費と使用料収入の均衡について継続的に精査しており、今年度（令和2年度）から開催している利用者との意見交換会により、一定の見直しが図られる予定。
--

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	⑤
課題及び改善後の対応	・維持管理経費と使用料収入の均衡について継続的に精査しており、今年度開催している利用者との意見交換会により、一定の見直しが図られる予定。

8 二次評価

今後の方向性	⑤				
所見	指定管理料の引き下げにつながる方策等を検討し、来年度以降の施設の運営方針を決定する。				
成果の方向性	今後の方向性				
	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330319		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係			
事務事業名	樽ヶ橋遊園運営事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項	01	商工費
				小	19	樽ヶ橋遊園運営事業	目	05	樽ヶ橋遊園運営費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令	動物愛護管理法				
	法令による義務付け			関連条例	樽ヶ橋遊園条例		関連計画	第2次樽ヶ橋エリア活性化基本計画・実施計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	樽ヶ橋遊園の遊具や設備の整備、約20種類の動物の飼養、施設の運営管理を行い、住民および胎内市に訪れる人々に健全な心身の憩いの場と動物とのふれあいの場を提供する。
主な実施内容	約20種類の動物の飼養、施設や遊具等の管理運営、園内の景観整備
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	57,322	174,334	145,808	528,143	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	44,500	160,300	131,200	512,100	
その他	13,301	15,454	16,245	16,043	
一般財源	△ 479	△ 1,420	△ 1,637	0	
人件費（千円）	17,978	17,751	17,184		
正(h) ※事業費	8,440	8,409	8,191		
臨時(h) ※事業費	2,921	2,520	1,914		
総事業費+人件費	75,300	192,085	162,992		
財源「その他」内訳	敷地使用料134千円、自動販売機手数料18千円、事業収入16,083千円（入園料、施設使用料、売店販売料）				
事業費の主な支出内容	賃金5,496千円、需用費5,156千円、委託料23,665千円、工事請負費（辺地債：108,107千円）、備品購入費1,717千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	244日間	244日間	244日間	244日間	244日間
	実績	242日間	243日間	245日間		
成果指標	名称	入場者数	入場者数	入場者数	入場者数	入場者数
	目標	37,000人	38,000人	37,000人	45,000人	50,000人
	実績	34,140人	43,110人	47,490人		
	目標比	92.2%	113.4%	128.3%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	南側の工事を行い、幼児向け遊具の設置やカナル改修など環境整備をしたことによる増加とみられる。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○				
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い					
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○				
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない					
	類似した事業が実施されていないか	○				
	○：類似事業がない ×：類似事業がある					
	住民等の参画、協働は可能か	△				
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済					
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	○				
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済					
協働または民間への外部化が不可能な理由						
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△				
	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要					
	事業費や人件費に削減の余地はないか	△				
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり					
	受益者負担は事業コストに対して適正か	○				
○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない						
単位コスト	算出方法	入場者1人あたり運営コスト（総事業費※+人件費）/入場者数 ※工事費・設計費を除く				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		902円	737円	669円		

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

- 樽ヶ橋遊園整備工事基本・実施設計（H29～）
- 大型複合遊具を設置（H29.11）
- 樽ヶ橋遊園休憩所「たるる」新築（H31.3）
- 新規動物購入
- ピオトープの整備
- カナルの改修、藤棚の改修
- いろいろテラス（幼児向け遊具）、東屋設置

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	①
課題及び今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 樽ヶ橋エリア活性化検討委員会で示されたランドデザインの基本構想に沿って見直しをしながら、今後も維持・管理していくことが必要である。 胎内リゾートエリア施設との連携を図りPRの強化に取り組む。 樽ヶ橋エリアの中核を担う施設でもあり、事業目的である健全な心身の憩いの場・動物とのふれあいの場を提供するため、計画に沿って施設の改修を進めていく。 施設の大規模改修に応じた運営体制と必要な人員育成が求められる。 入園料及びアトラクション等の料金改定と指定管理制度の導入による運営方法の検討を行う。

8 二次評価

今後の方向性	①																										
所見	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×		削減	縮小	維持	拡大
	拡充	×	④	②	①																						
	維持	×	⑤	③	×																						
	縮小	×	⑥	×	×																						
	休廃止	⑦	×	×	×																						
	削減	縮小	維持	拡大																							
	コスト投入の方向性																										

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330320		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係						
事務事業名	胎内スキー場管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計				
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費	
施策	15	観光・交流			中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費	
					小	20	胎内スキー場管理事業		目	03	観光費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令							
	法令による義務付け		任意		関連条例	胎内市地域間交流センター条例・胎内市索道事業条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内スキー場を管理し、地域の特性及び資源を活かした雪国の独自性ある交流事業によって魅力ある地域づくりを推進する。
主な実施内容	胎内スキー場の管理・運営を行う。 平成22年度より、指定管理者に運営を委託。
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	114,714	191,456	203,118	34,355	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	85,700	159,600	177,600	12,900	
その他	0	365	286	288	
一般財源	29,014	31,491	25,232	21,167	
人件費（千円）	221	223	228		
正(h) ※事業費	120	120	120		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	114,935	191,679	203,346		
財源「その他」内訳	辺地対策事業債、敷地使用料ほか				
事業費の主な支出内容	消耗品費、修繕費、ホイールローダーリース料、貸付測量申請委託料、施設改修工事				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	90日	90日	80日間	80日間	80日間
	実績	62日	67日	2日		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	55,000人	56,000人	55,000人	55,000人	55,000人
	実績	48,330人	51,466人	480人		
	目標比	87.8%	91.9%	0.80%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	×		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	暖冬消雪によりスキー場を営業までに至らず、目標を達成できなかった。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○			
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○			
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない				
	類似した事業が実施されていないか	○			
	○：類似事業がない ×：類似事業がある				
実施	住民等の参画、協働は可能か	○			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	実施			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
協働または民間への外部化が不可能な理由					
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	○			
	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要				
	事業費や人件費に削減の余地はないか	○			
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり				
	受益者負担は事業コストに対して適正か	○			
	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない				
単位コスト	算出方法	総事業費/利用者数 ※工事費を除く			
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	599円	618円	5,316円		

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

- ・月1回の取締役会、(株)胎内リゾート役員及び市担当職員による週1回の定例会により、スピード感をもった経営改善化策が講じられる体制が構築された。
- ・辺地債によるスキー場の設備工事

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び改善後の対応	・数年に一度の暖冬少雪リスクを織り込んだ上での資産形成を念頭に施設経営にあたる必要がある。

8 二次評価

今後の方向性	③																										
所見	今後の方向性	③																									
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×		削減	縮小	維持	拡大
	拡充	×	④	②	①																						
	維持	×	⑤	③	×																						
	縮小	×	⑥	×	×																						
休廃止	⑦	×	×	×																							
	削減	縮小	維持	拡大																							
コスト投入の方向性																											

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330321		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係				
事務事業名	フィッシングパーク管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
				小	21	フィッシングパーク管理事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			任意	関連条例	胎内市フィッシングパーク条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	フィッシングパークを運営し、やすらぎのある憩いの場を提供し、市内外の住民との交流を拡大するとともに、地域の活性化を図る。
主な実施内容	胎内フィッシングパークの管理・運営を行う。 平成22年度より、指定管理者に運営を委託。
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	309	278	73	480	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	27	0	27	
一般財源	309	251	73	453	
人件費（千円）	221	223	228		
正(h) ※事業費	120	120	120		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	530	501	301		
財源「その他」内訳	敷地使用料				
事業費の主な支出内容	修繕費、火災保険料				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	-	-
	目標	197日	197日	200日	-	-
	実績	191日	197日	198日		
成果指標	名称	入園者数	入園者数	入園者数	-	-
	目標	17,800人	17,900人	23,100人	-	-
	実績	22,370人	20,380人	21,680人		
	目標比	125.7%	113.9%	93.80%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	定められた目標を概ね達成できた。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	○
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	○
	単位コスト 算出方法 総事業費/入園者数 ※工事費を除く 実績 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 13円 13円 3円	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 施設単体の業績は概ね良好であり、計画的な維持修繕を基本としている。 ロイヤル胎内パークホテルのレストランミサゴの食事券付きプラン等の販売など、他施設への経済波及施策を随時実施している。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題改善及び今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 現在、施設の維持管理に必要な最低限度の予算のみが計上しており、これ以上の予算削減等は難しい。 胎内リゾート他施設への経済波及施策を検討・実施していく。

8 二次評価

今後の方向性	③																														
所見																															
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×		削減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性				
拡充	×	④	②	①																											
維持	×	⑤	③	×																											
縮小	×	⑥	×	×																											
休廃止	⑦	×	×	×																											
	削減	縮小	維持	拡大																											
コスト投入の方向性																															

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330322		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係					
事務事業名	観光交流センター運営事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
施策	15	観光・交流			中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
					小	22	観光交流センター運営事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連条例	胎内市観光交流センター条例	関連計画	第2次樽ヶ橋エリア活性化基本計画・実施計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内市における観光振興及び地域の活性化、観光事業の拠点となる観光交流センターの維持管理を行う。 道の駅として、また樽ヶ橋エリアの観光拠点として、観光案内や観光情報の発信を行う。
主な実施内容	胎内市観光協会を指定管理者として運営委託 宣伝・誘客の主なイベントは以下のとおり。 ・胎内温泉まつり ・胎内星まつり
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	40,816	11,770	11,325	11,166	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	28,900	500	0	0	
その他	0	34	0	35	
一般財源	11,916	11,236	11,325	11,131	
人件費（千円）	1,326	1,336	1,367		
正(h) ※事業費	720	720	720		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	42,142	13,106	12,692		
財源「その他」内訳	指定管理委託料				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	365日間	365日間	366日間	365日間	365日間
	実績	365日間	365日間	342日間		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	50,000人	51,000人	51,500人	51,500人	51,500人
	実績	53,170人	49,550人	56,230		
	目標比	106.3%	97.2%	109.2%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	○	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	定められた目標を十分達成できた。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○			
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○			
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○			
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	○			
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施			
	協働または民間への外部化が不可能な理由				
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○			
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○			
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	○			
単位コスト	算出方法 総事業費/利用者数 ※工事費を除く				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	767円	227円	201円		

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

樽ヶ橋エリア活性化検討委員会により、進捗管理及び改善策の検討が行われている。
--

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題 改及 革び 改今 善後 方の 法対 応・	・道の駅の情報発信拠点として、また樽ヶ橋エリアの観光拠点として、胎内市の観光機能としての役割は非常に大きい。 ・観光関連施設が連携したプログラムやイベント等を実施して、訪れる人による消費活動が活発になることで、経済的・社会的効果を高める。 ・特産品等の売上を伸ばすため、取り扱う商品等の見直しを図る。

8 二次評価

今後の方向性	②			
所見	観光交流センターでの特産品の販売を拡充する。			
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減			
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	330410		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係				
事務事業名	観光振興事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
施策	15	観光・交流		中	04	効果的・効率的な情報発信		項	01	商工費
				小	10	観光振興事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令		関連計画		胎内市観光振興ビジョン、第2次胎内リゾート活性化マスタープラン、第2次胎内リゾート活性化アクションプラン、樽ヶ橋エリア活性化基本計画・実施計画		
	法令による義務付け			任意						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	観光振興ビジョンが掲げる目指すべき観光地「どこにでもある田舎から何度も訪れたくなるふる里へ～胎内のみんなで旅人をムラビトへ」の実現を図るため、市民を始めとした多様な主体と協働しつつ、観光コンテンツの造成・販売・PRを行う
主な実施内容	観光コンテンツの造成 ○イベント・各種体験プログラムの開催（イベント8種、体験プログラム54種277回開催） ・チューリップフェスティバル ・米粉フェスタ in たいない ・胎内スキーカーニバル ・胎内温泉まつり ・胎内里まつり ・中条まつり ・飯豊連峰胎内口山開き ・榊山脈山開き など ○施設（44施設） ・樽ヶ橋遊園 ・グリーンハウスたいない ・観光交流センター ・胎内フラワーパーク ・胎内高原ビール園 ・胎内アウレックス ・レクホール ・胎内昆虫の家 ・胎内自然天文館 ・クレーストーン博士の館 ・黒川郷土文化伝習館 ・シンクルトン記念館 ・奥山荘歴史館 ・桃崎浜文化財収蔵庫 ・有楽荘 ・胎内スキー場 ・ロイヤル胎内パークホテル ・奥胎内ヒュッテ ・フィッシングパーク ・そば処みゆき庵 ・塩の湯温泉 ・クアハウスたいない ・きのと観光物産館 ・ポート場 ・ロイヤルテニスコート 胎内市美術館 など 観光コンテンツの販売・PR ・いどり胎内等紙媒体制作、胎内観光NAVI等WEB媒体の運用、首都圏等商談会でのAGTセールス、台湾AGTへのトップセールス、表参道ネオパス等での特産品販売
実施方法	市が直接実施+補助・負担

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	40,381	45,156	41,978	37,435	
国・県支出金	0	0	1,000	1,000	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	9	
一般財源	40,381	45,156	40,978	36,426	
人件費（千円）	21,882	22,102	22,514		
正(h) ※事業費	9,600	9,600	9,600		
臨時(h) ※事業費	5,040	5,040	5,040		
総事業費+人件費	62,263	67,258	64,492		
財源「その他」内訳	観光協会負担金、印刷製本費				
事業費の主な支出内容	観光協会負担金、印刷製本費				

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	①行事・イベント数 ②施設・スポット数	①行事・イベント数 ②施設・スポット数	①行事・イベント数 ②施設・スポット数	①行事・イベント数 ②施設・スポット数
	目標	①23 ②43	①25 ②43	①23 ②27	①23 ②27
	実績	①20 ②47	①24 ②44	①285 ②44	
成果指標	名称	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数
	目標	①127,000人 ②1,001,000人	①129,540人 ②1,021,460人	①128,000人 ②1,000,000人	①128,000人 ②1,000,000人
	実績	①132,967人 ②916,400人	①101,570人 ②883,566人	①126,000 ②947,360	
	目標比	①104% ②91%	①78% ②87%	①98% ②95%	

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	定められた目標を概ね達成できた。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○			
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○			
効率性	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない				
	類似した事業が実施されていないか	○			
	○：類似事業がない ×：類似事業がある				
実施	住民等の参画、協働は可能か	○			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	○			
実施	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
	協働または民間への外部化が不可能な理由				
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	○			
効率性	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要				
	事業費や人件費に削減の余地はないか	○			
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり				
効率性	受益者負担は事業コストに対して適正か	○			
	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない				
	単位コスト				
算出方法	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績				

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

令和元年度より、入込客数に重点を置いたイベント中心の施策から、年間を通じた観光関連事業者の売上高にも寄与する施策へと移行を進めている。なお、イベントにおいては開催意義・狙いを改めて再定義しつつ、内容等の充実を図りながら、必要なものは実施していく。
 実施体制として、市、観光協会、胎内リゾート、観光ボランティアガイドの若手職員らからなる連携会議を組織し、春夏/秋冬を軸に「イベント」「体験プログラム」「宿泊プラン」「グルメ」といった観光コンテンツを戦略的に造成・販売する取組を始めており、総合計画、観光振興ビジョンといった行政計画のKPIへの寄与にもつながっている。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の対応	各主体をコーディネートする役割を担う「観光振興推進サポーター」も加え、体制強化を図ったなかで、第2次胎内市観光振興ビジョンを推進していく。 今年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響下における観光地胎内市のポジションを早期に打ち出し、観光関連事業者の売上高に寄与していく。

8 二次評価

今後の方向性	②																																
所見	観光振興ビジョンの実現を目指し、成果を拡充すべく取組を進める。																																
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>④</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>⑧</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑨</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑩</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>⑪</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> </tr> </table>	拡充	④	②	①	維持	⑤	③	④	縮小	⑥	④	⑤	休廃止	⑦	⑤	⑥	削減	⑧	⑥	⑦	縮小	⑨	⑦	⑧	維持	⑩	⑧	⑨	拡大	⑪	⑨	⑩
拡充	④	②	①																														
維持	⑤	③	④																														
縮小	⑥	④	⑤																														
休廃止	⑦	⑤	⑥																														
削減	⑧	⑥	⑦																														
縮小	⑨	⑦	⑧																														
維持	⑩	⑧	⑨																														
拡大	⑪	⑨	⑩																														
コスト投入の方向性																																	